



広い心

学校便り 15号
令和4年 11月21日
宮古島市立 狩俣小学校
発行者：校長 村吉博勝

狩俣小の職員紹介②



職員紹介第2弾は、今年、狩俣小に赴任してきました。「上地千香先生」を紹介します。現在、3年・4年の担任を受け持ち、5名の子どもたちと日々頑張っています。千香先生は、授業づくりに熱心で、複式の授業でどうすれば、子どもたちが理解を深め、意欲をもって取り組めるか日々頑張っています。先週も校内での研究授業で代表授業者を努め、複式の中で、子どもが主体的に学び、本校が育成すべき資質・能力を踏まえた授業づくりについて実践を見せてくれました。また、運動会でも見せましたが、足が速く身軽にトラックを駆け抜けていく姿がかっこいいです。これからも、子どもたちのために、授業づくりやスポーツで楽しく関わっていけるとと思います。どうぞ、よろしくお願いします。



地域に学ぶ「地域教育資源の活用」



子どもたちは、学校において教科や道徳・特別活動、総合的な学習について学びます。学ぶ内容は違えど、学ぶスタイルは昔から、一人の教師から子どもへというのが一般的でした。現在は学校外の人・物・事を使って子どもたちに多様な学びを行っています。そうした中、狩俣小でも総合的な学習の時間で、地域の人材を活用した学習を行っています。先週と先々週には、自治会長「國仲義隆さん」やくこりもやの「下地克子さん」をお招きして、5年・6年生の子どもたちが、狩俣地域の現状や未来の狩俣について学習を進めました。学習指導要領には、社会に開かれた教育課程を通して、子どもたち一人一人に豊かな学びの実現を目指すとあります。今回、地域の方を招いての学習には、子どもたちが大人と共に未来の狩俣を語る姿があり、私たちが目指す学びのあり方が一歩前進した感じがします。協力していただいた、「國仲義隆さん」「下地克子さん」ありがとうございました。

